

# ツクシボウフウ

*Pimpinella thellungiana* var. *gustavohegiana*

セリ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IB



大分県の特産種。火山性高原の草原に生える多年草で、草丈30～80cm。根葉及び下部の葉は、5～9葉の小葉がついて柄があり、上の葉は小形で無柄。花期は8月、茎の先に大きな散形花序が数個つく。花梗は10～15個、小さな白花を密につける。生育地の草原は、土地開発が進み、植林地や畑地に改変され、野焼きが停止されて植生遷移するなど、多くの要因が重なって生育地、個体数が激減しており、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真・文：荒金正憲)

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地

分布域 九州（大分）

国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]